



練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

第10号

創立 昭和24年10月(1949)

発行 昭和57年6月25日



区旗を先頭に入場する練馬代表選手団

第二十五回東京都民体育大会

男子総合第八位・女子第十一位

男子 柔道優勝、陸上・ローラー準優勝
女子 テニス準優勝と健闘

三十五回記念大会、春季大会は、五月二十三日駒沢総合競技場に於て、参加五十二区郡市の代表二〇〇名の入場行進によって開始された。練馬区からは天野団長以下五十名が参加した。

鈴木大会長(都知事)の挨拶につづき、優勝杯・優勝旗の返還選手宣誓と進み、午前十一時終了した。

その後、表彰団体・個人表彰の祝賀パレードが同競技場会議室で行われた。

◎本区関係・表彰

団体 ラジオ体操連盟

代表 豊田三郎

個人 榎本松次(剣道)

土佐邦彦(空手道)

競技は、六月四日までの二週間、二十四種目が都内の四十三会場で行われた。

本区は、男子二十一種目二二名、女子 八種目 七八名計、二九九名の代表が出場した。

正式種目

○男子 柔道(優勝(五回目))

ローラースケート準優勝

陸上競技 準優勝

これにつづいて、クレー射撃が第五位、テニス第五位と健闘、得点した結果、昭和四十四年の総合第四位、五十五年の総合第七位につく、三回目の入賞を果した。

○女子 テニス 準優勝

陸上競技が第五位と入賞したが他に得点がなく、前年総合七位から十一位に後退した。

六月六日、岸記念体育館に於て閉会式が行われ、入賞の各区代表に表彰状が授与された。

本区は野口理事長が代表して受賞した。

公開種目

男子 自転車 優勝

銃剣道 優勝

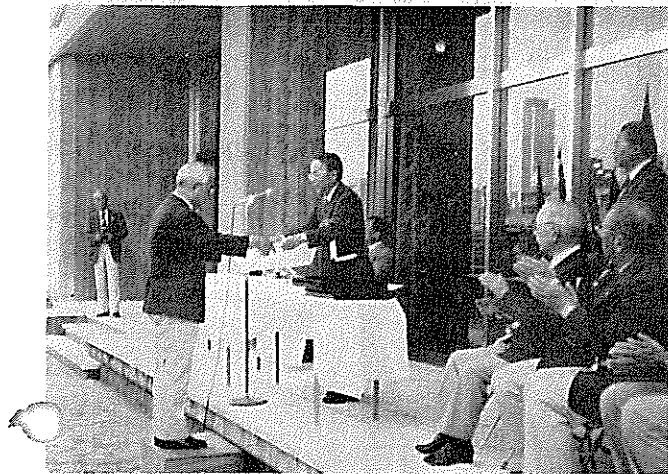
女子 フェンシング 準優勝

※正式種目の条件は、参加地区が二十五区郡市以上の場合、次年度より正式種目となる。

区・市・得点・順位

男子

1. 大田区	一〇八点
2. 杉並区	一〇〇点
3. 渋谷区	八七・五点
4. 台東区	七八点
5. 千代田区	七六・五点
6. 世田谷区	七六点
7. 新宿区	六九点
練馬区	六〇・五点
中野区	六〇・五点



総合8位の表彰を受ける野口理事長

○得点内分け

柔道	十三点
陸上	十点
ローラー	十点
クレー	七点
テニス	五・五

女子

1. 杉並区	五九点
2. 墨田区	五三点
3. 大田区	四八点
4. 品川区	四四点
5. 世田谷区	四二・五
6. 目黒区	四〇点
7. 台東区	三〇点
8. 葛飾区	二七・五

11. 練馬区 二四点

○得点内分け

テニス	十点
陸上	八点

参加種目の成績

◎柔道 文京第六中学校
五月三十日

二回戦	練馬 3-0 西多摩
三回戦	練馬 2-0 江戸川
四回戦	練馬 2-0 北
準決勝	

練馬 1-0 葛飾
決勝 練馬 2-0 千代田

準決勝の対葛飾戦では先鋒鈴木が引き分けたが、中堅高橋が背負い投げで見事に一本勝ち、大将深谷が引き分け、難関を突破して決勝へ進出した。

決勝では、鈴木が横四方固めでまず一勝、高橋は引き分けに終わったが、大将深谷が合せ技できめ、見事に、二年振り、五回目の優勝を飾った。区代表の鈴木、高橋、深谷の三選手は、チームワークよく、決勝までの五戦中、相手チームに一本も取らせず完勝でこの栄冠をかちとったことは、特記すべき事項であり、その健闘を大いにたたえたい。(吉田邦治)

◎ローラースケート競技
五月二十九日-六月四日
後楽園リンク
○ホッケー 優勝
一回戦 練馬 13-1 新宿
二回戦 練馬 5-4 文京
三回戦 練馬 7-2 葛飾
準決勝 練馬 10-2 江戸川
決勝 練馬 9-4
○スピード
五〇〇米 三位 豊田純夫

三〇〇米 九位 西村孝夫
〇リレー 五位
○フイギユア 二位 小山吉男
ホッケー競技では二回戦の対文京戦が事実上の決勝戦、ここで勝った方が優勝となるだけに激しい攻防が展開した。前後半終って一対一、結着をつけるためのPK戦、ここで二対一とくさがる文京を降した。以後、急にのり、あきらめない戦いで庄勝、この部門での優勝を飾った。

スピード部門でも予想通りの得点をあげたが、フイギユア部門で、小村選手の欠場のため、小山選手一人となり、小山健闘するも、エントリー二名の大田に首位をとられ二位、この一点が最後まで大きくひびき、総合得点で
荒川区 二十九点
練馬区 二十八点
ついに念願の総合優勝を逸したことは、かえすがえすも残念だった。(田代耕造)

◎陸上競技
五月二十三日 駒沢競技場
○男子
一〇〇米 二位 宮野 明
十一秒五
六位 大石光広
十二秒六
四〇〇米 二位 須藤利明
五一秒七
三位 田中宏明
二秒一

練 馬 区 水 泳 連 盟

会 長 上 野 定 雄

事務局 田柄 2-29-1 田柄スイミングクラブ内 TEL 939-0011

リレー 一位

四三秒 八

砲丸投 一位 加藤源八

十二米二九

走巾跳 五位 佐藤博之

六米四九

六位 大崎 真

六米四三

女子

一〇〇米 二位 田中清美

十三秒 五

八〇〇米 五位 園井菜穂子

二分四六秒七

リレー 一位

過去、最高位の成績をあげた。よくをいえば、長距離陣の強化いかんでは優勝も可能といえよう。少数で本当によく頑張った。出場選手に心から感謝を申し上げます。(篠田庸雄)

◎駅伝

五月三十日 大井浮頭コース

十四位

1区 田中宏明 二十六位

2区 梶 三郎 二十五位

3区 安部武良 二十三位

4区 須藤利明 二十位

5区 中島政雄 十七位

6区 大沼雅広 十四位

スタートの一区で大ブレイクとなり、二区以後も下位グループに調子をあわせる結果となり、最後まで入賞圏内に手が届かなかった。非常にむし暑く走りづらかったので若い選手が、その力を発揮出来

すに終わった。(庸雄)

◎クレール射撃競技

五月二十三日、SKB成田射場

トランプ射撃競技 一七六点

松村欣也 三八点

松本治三郎 四四点

中里憲治 四五点

等原幸蔵 四九点 第二位

○スキート射撃競技 二二〇点

郷手隆夫 三六點

朝日祥一 四一點

東陸之助 四三點

合計得点 二九六點

総合順位 第五位

今年こそ三位内をと近年にない最強メンバーでチームを編成、大会にぞなえました。しかし二名が体を悪くし、期待にぞななかったことは本当に残念でした。来年こそ優勝をめざして頑張ります。(長谷川義夫)

◎テニス競技

五月二十九日、三十日

昭和の森テニスコート

男子

一回戦 練馬 不戦勝 調布

二回戦 練馬 3-0 稲城

三回戦 練馬 2-0 北

準々決 練馬 1-0 杉並

練馬区 ベストエイト

第五位

女子

一回戦 練馬 3-0 港

二回戦 練馬 3-0 東

三回戦 練馬 2-0 久留米

立川

準々決 練馬 3-0 墨田
準決 練馬 2-1 重村山
決勝 練馬 1-2 杉並
練馬区 準決勝

◎ライフル射撃競技

五月三十日 朝霞オリンピック射撃場

射撃場

練馬区 総合第十二位

今年から六〇発競技、他のルールも変り、全選手にとって負担となりました。よくなれた選手と不なれの選手との差が出たようでした。練馬区チームの監督には、佐藤幸次郎氏があたりました。結果、

ARS60 五四三點五位
SB3P60横山 五四五點六位
以上三名の入賞に止まり、総合十二位に終わりました。

◎卓球

五月三十日、東京体育館

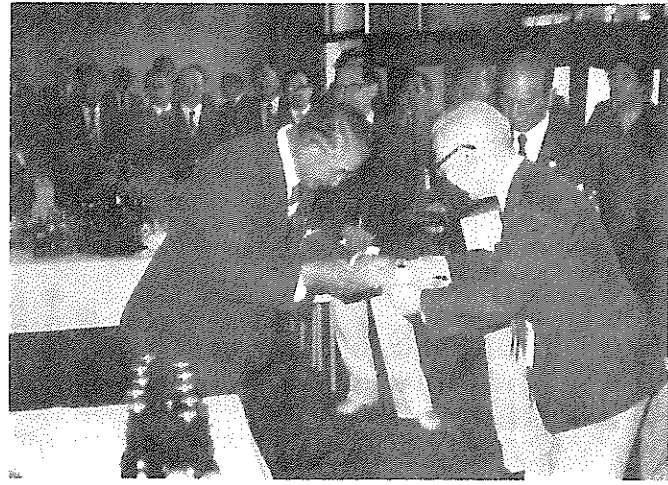
男子

一回戦 練馬 3-2 調布

二回戦 練馬 3-1 三鷹

三回戦 練馬 1-3 東久留米

三回戦で第二シードの東久留米とあたり不運でした。最近の傾向と



受賞する榎本剣道連盟会長

<p>コスター (株)</p> <p>墨田区本所 1-19-2</p> <p>渡辺 俊</p>	<p>東松館剣道道場</p> <p>石神井町 1-11-32</p> <p>榎本 松次</p> <p>TEL 997-6241</p>	<p>学校用品販売</p> <p>ひのきや商事株式会社</p> <p>桜台 2-34</p> <p>TEL 992-7205</p>
---	---	--

して、男女共、シニア、ベテランが充実し、ここが勝負のキーポイントになっている。

○女子

一回戦 シード

二回戦 練馬 3-2 品川

三回戦 練馬 1-3 渋谷

今年こそ上位入賞と、日本リーグで活躍の明治生命の選手を加え、必勝を期したが、残念ながら三回戦で渋谷に敗れた。

男、女ベスト16にとどまった。

(吉浦邦良)

●剣道

五月二十三日 品川区体育館

一回戦 シード

二回戦 調布市 一 練馬

3 (7本) 2 (6本)

●軟式陸球

五月二十三日

男子 世田谷区総合運動場

台東区 4-1 練馬区

女子 駒沢オリンピック公園

渋谷区 2-1 練馬区

男子は一般の一勝のみ、ポイントゲッターの成年、壮年が敗退したので勝てない。

女子は実力で差はなく、おしい戦いだった。

敗因は、チームとしてのまとまりを痛感した。またまった強化練習にかかってくると思う。区管コートでの強化練習を優先使用させてほしい。

(舟崎和誠)

●バレーボール競技

五月三十日、六月五日

立川市、福生市、江戸川区

各体育館、多摩スポーツセンター

男子一回戦 シード

二回戦

府中 2 (21-15) 0 練馬

21-13

女子一回戦

中央 2 (21-9) 0 練馬

21-7

●バドミントン競技

一回戦 シード

二回戦

国立市 2-1 練馬区

女子一回戦

立川市 2-0 練馬区

男子は第四シードにもかかわらず国立市に苦杯をきった。一般ダブルスの二試合はいずれも接戦であったが、勝敗をきめる第三ダブルスのファイナルゲームに於て、初参加メンバーに経験の浅さが出てしまった。壮年ダブルスは完敗で、今後の強化育成が望まれる。昨年のメンバーが抜けたとはいえず充分勝戦のあった相手だけに残念な結果であった。

女子もまた奮闘むなしく一回戦で敗退した。壮年の試合で第一ゲームをとりながら逆転されたことが残念であった。

このように、本年度は不本意な成績に終り、応援をいただいた各位に深謝する次第で、今後は女子

の若手選手の育成と、区内への定着をはかると共に代表選手の強化合同練習の機会をふやすことなどを課題とした。(村田光二)

●弓道競技

五月二十三日

多摩スポーツセンター

予選失格・ベスト8の進出ならず

●軟式野球競技

五月三日、二五日、二七日

上井草総合運動場

一回戦 練馬 3-1 墨田

二回戦 練馬 3-2 世田谷

三回戦 練馬 0-7 千代田

一回戦、二回戦と勝進したが、三回戦で本大会優勝の千代田ライオンと対戦、涙をのんだ

●空手競技

五月二十三日 駒沢総合体育館

田無 3-2 練馬

一回戦で敗退

●アチェリー競技

五月三〇日 駒沢第一球技場

順位 第21位 一六六四点

●バスケット競技

五月二十二日、二十三日

駒沢室内体育館

男子 二回戦 渋谷 87-67 練馬

女子 二回戦 福生 61-58 練馬

●サッカー競技

五月二十三日

駒沢第二球技場

一回 不戦勝

二回 練馬 1-4 国立

公開種目

●自転車競技

優勝 練馬区

一〇〇〇米 タイムトライアル

一位 橋本元

ポイントレース

五位 湯川和

ミスアンドアウトレース

一位 橋本元

二位 山本力也

三位 湯川和

六位 斎藤一博

三十五才以上

四〇米速度競争

一位 高村精一

八〇〇米速度競争

三位 浅沼照夫

五位 高村精一

二十四才以下

八〇〇米速度競争

五位 谷原治彦

六位 姚 瑞隆

一〇〇〇米速度競技

三位 布施義憲

四位 吉川 担

二〇〇〇米速度競技

二位 布施義憲

五位 姚 瑞隆

●銃剣道競技

予選 第一位

練馬 3-0 文京

練馬 0-1 新宿

練馬 3-1 墨田

練馬 3-0 府中

決勝トーナメント

練馬 3-0 荒

練馬 3-0 台東

優勝 練馬区チーム

監督 山永照夫

大将 羽多野秀夫

中堅 永井 勝

先鋒 湯本雅一

篠田直治
高松 6-32-5
TEL 996-8302

大泉農業協同組合
大泉学園町2125
TEL 925-3111
組合長 加藤 弥平次

武蔵野信用金庫
大泉支店
南大泉町1-17-12
TEL 921-7211

第一回区スポーツ少年団・フェスティバル

日時 五月五日、子供の日
場所 中大グラウンド跡地、全面
主催 区スポーツ少年団本部
区体育協会
後援 練馬区
練馬区教育委員会



当日は晴天に恵まれ、少年野球を

始めとする各競技中止、このフェスティバル一本にしようとしたため二〇〇〇人の団員が参加、盛大に開催された

午前九時三〇分

参加十競技の代表二〇〇〇人が種目単位で入場

区旗、体協旗、スポ少旗入場

井口スポ少本部長 挨拶

小口体育協会会長 挨拶

矢崎区議会議長 祝辞

奥山競技団体代表 祝辞

午前十時

参加者は自由に設定された、各コーナに分れ、開始

スポーツコーナ

ホームランコーナ

投球機械三台

ミニ、サッカーコーナ

四面で実施

ミニ、ゲートボールコーナ

コート四面使用

テスト、コーナ

ケン玉、テスト

なわとび、テスト

体力、テスト

三つのスポーツコーナの気持は大変なもので、長い列が組まれた。特にホームランコーナは、午前中に午後の順番までの受付で、満杯となった。ゲートもサッカーにも人気を集め、団員は春の日を一杯に遊び、のびのびとスポーツを楽しんでいた。

大会本部より、参加者全員に記念ワッペン、飲物、参加カードが配布された。

昼休みに、地元「せいは大鼓」のアトラクション、その後、大きな輪になって、東京音頭、練馬音頭、の踊りに興じた。

午後一時、各コーナが再開した。

この間、リレーの受付、予想もなかった二〇〇組近い申込で、係員も大汗をかきながら編成に入った。

しかし、残念なことに、午後三時分頃、雷雨となり、大粒の雨と雷鳴、本部は団員の安全を考え、この時点で中止を宣告、解散した。

予定としてこの後の実施種目

・リレー競技

・本日の最大のおびもの

・ジャンケン大会

・クイズ大会

が中止されたことは、かえすがえすも残念だった。

野球の子供達がサッカーにサッカーの子供がホームランに、ソフト、ネットの少女達がゲートボールやケン玉にと平素と違ったプレイを楽しみ、種目の垣根をこえてこのフェスティバルは予想以上の成果を残した。

次回のこの催しには、新しい企画と体制をもつと、スポーツ少年団加入団員の一年に一回の楽しいイベントにしたいと思います。

(野口嘉郎)

体協 定期総会

昭和五十七年度、定期総会は四月七日(水)午後七時より、区教養会議室に於て、加盟二十六団体の代表が参加開催された。

報告事項

一 区表彰者氏名の報告

一 新年会収支報告

一 賛助会員の集計報告

一 五十六年度の決算報告

収入 四、九四〇、四六七円

支出 四、五二四、九七九円

繰越 四一五、四八八円

協議事項

一 加盟団体、体協間のとりきめ事項

一 東京都民大会について

一 区テニス協会の正式加盟

一 五十七年度 事業計画

一 五十七年度 予算

一 スポ少フェスティバル

各項目につき、説明の後、協議、原案通り之を承認した。

区総会体育館に

エア・ライフル

射場 完成

昨年末より工事に入っていた、エア・ライフル射撃場が、区体育館東側の一区間に完成、五月九日その披露が行われた。

その後、試射が行われ、会場を福祉会館に移し、祝賀会が行われた。

<p>スポーツ&レジャー 保谷 エコスポーツ 保谷南口駅前 TEL 925-6220</p>	<p>(株) 豊島園 TEL 代表 990-3131</p>	<p>上野明政 川口市並木町3-17-7</p>
--	------------------------------------	------------------------------

第七回幹部研修会

体協、加盟団体の代表幹部研修会は、六月十二日、十三日秩父市、国民宿舎、武甲荘に於て開催した。

午後三時三十分開講式
小口体協会長 挨拶
天野社会体育課長 挨拶
野口体協理事長より説明
分散会
A班体協と加盟団体との事務処

理 並に提出書類説明会
野口理事長より、加盟団体との密なる連絡を図るための事務連絡の必要性、並に、交付金処理出納の正確な報告等、説明が行われた。

この後、
年間提出書類、一式が渡され、全様式
No.1、No.18について質疑応答が



行われた。

最後に、体協会員規定(案)の説明が行われ終了した。

B班 第一回区民大会
実行委員会
寺崎副理事長が司会者となり、第三十五回区民大会にむかつての第一回実行委員会として行われた。

区教委 社会体育課より担当の高橋体育係長外渡辺主事も出席した。

1.各競技の日程、会場、種目について
2.各競技会の関係書類についての説明
3.大会参加章への思考
4.総会開会式
5.競技上の事項

各項目について活発な意見が出され、一応の結論を見出し、初の実行委員会を終った
ここでは、体協会員規定(案)が示された。

分散会は五時二十分終了
午後六時三十分、全員が大広間に集合、本年三月末をもって転出した。社会体育課の職員の皆様の送別会に兼ねて夕食会が行われた。
転出職員(出席)

篠田忠征氏前管理係長
吉田政功氏前体育館長
代田朝憲氏前体育係主事
田島和夫氏前体育係主事
小口政雄会長の挨拶

天野社会体育課長の首頭で乾杯
篠田忠征氏より転出職員を代表して挨拶が行われた。
司会、本間常任理事
午後八時三十分、終了

第四回区スポーツ少年ソフトボール大会

ホワイトソックスが初優勝

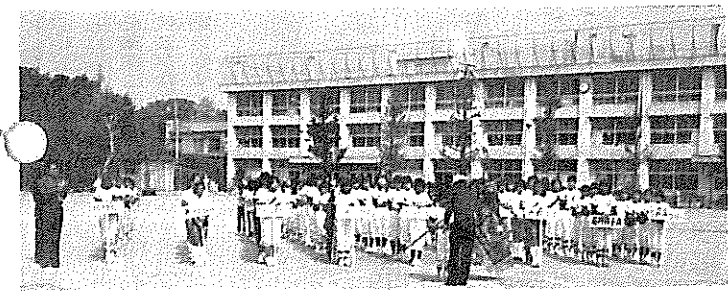
区スポーツの直属種目としてのソフトボール大会は第四回を迎え、関町北小学校校庭に於て
四月二十五日(日)
二十九日(祭)

※十三日(日)に大会、教員の関係団体が多く、やもつえず、全体会は本年は中止のやむなきにいたった。

二十九日(祭)
両日で行われた。

Aブロックから、ホワイトソックス。Bブロックから光和小Aが勝ち進み、決勝で光和小を降しホワイトソックスが初優勝し真紅の大優勝旗を確得した

二十五日	泉新	10-3	石台小
	上北小	18-3	八坂四
	ホワイト	15-0	関北レッド
	石神井小	15-2	光和小B
	光和小A	14-6	泉新
二十九日			
準決勝		9	
	光和小A	19-9	上北小
	ホワイト	6-5	石神井小
決勝			
	ホワイト	22-6	光和小



東京都練馬区中村北一―九
練馬区体育協会
代表 小口 政雄
編集 野口 嘉郎
TEL 九九三―二二一―767